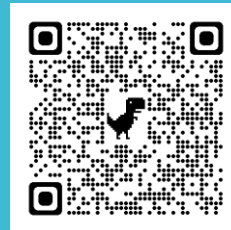


地域とメディア実践研究フォーラム2024 「空き家から創る～多様性に基づく地域 社会のコミュニティスペースとメディア リテラシー」

参加申し込みフォーム：<https://forms.gle/y15qYiTD2zZBcztWA>

本フォーラムの内容は研究や教育を目的とした学会や論文、報告書、ウェブサイトなどで報告・公開いたします。当日は記録のため写真撮影・ビデオ録画を行いますので、ご了承の上ご参加下さい。

本研究フォーラムはJSPS 科研費 20K12555 の助成を受けています。



日時：

2024年2月3日(土)

13時20分～16時50分

場所：

学びの空間『楽』

(大阪市旭区中宮4-10-14)

アクセス

<https://manabi-space-raku.hp.peraichi.com/>

問い合わせ：

桃山学院大学国際教養学
部 土屋研究室
ytsuchiy@andrew.ac.jp

■開催趣旨：

人の移動や人口減少に伴い、地方でも都市部においても空き家が増加している。そうした空き家を活用した地域の新しいコミュニティ・コミュニケーションの場があらこちに生まれている。そこでは多様な人びとの交わりを通じて、現行の制度や日常の行動パターンの枠内におさまらないような地域社会や生活の課題、困りごとへの対処、楽しむための機会が、ケアや子育て、学習、アート、文化交流、季節の催しなどの様々な分野で、作り手の人たちの創意工夫によって生み出されている。

本研究フォーラムでは、年齢、国籍、障害など多様な住民の参加を促すコミュニティスペースのデザインとメディアとの関わり方について、コミュニティづくりの実践者やメディア制作に取り組む大学生、メディア研究者などの多様なメンバーで議論したい。第1部では、広島経済大と桃山学院大の学生が地域や自分の住む身近な世界をテーマとして表現した動画や冊子づくりの作品発表会を行う。第2部では、元大阪市職員の上林均寿さんをお招きし「多文化共生のまちづくり～「多様性がイノベーションを生む」かけ算のまちづくり実践」の講演を行っていただく。続いてパネルディスカッションを行い「学びの空間『楽』」や広島・尾道のコミュニティスペースの報告をいただいた上で、参加者のみなさんと共に地域の多様な人びとを包括するスペースをどう創り活かしていくのか議論を重ねていく。



■講演者：

上林均寿（かんばやし まさとし）さん
株式会社Ao代表取締役、行政書士事務所サクラプラス 代表、元大阪市職員

大阪市役所を22年勤め退職。市営住宅、道路・公園等社会インフラ事業を長く担当し、最後の担当は生野区役所でのシティプロモーション・多文化共生。公募区長である山口照美生野区長（現港区長）とともに“やさしい日本語”を使った多文化共生のまちづくりに挑戦。現在は「多様性はイノベーションを生む」をキーワードに独立。誰もが自分が主役の人生ストーリーを自由に楽しむための環境づくり、まちづくり、社会をめざして奮闘中。

■プログラム：

□13時20分 開会あいさつ・スケジュール説明

第1部 大学生による地域とメディア制作

□13時30分～14時00分 ①雑誌づくり「自分のこだわりをデザインする～大学生のリトルプレス制作」

（広島経済大学メディアビジネス学部 阿部純研究室／4年山本結さん）

□14時00分～15時00分 ②デジタルストーリーテリングと作品上映「大阪市千林エリアのコミュニティスペースを訪れて紡いだ私のストーリー」

（桃山学院大学「マルチメディア文化実習」越田・山川・生馬・森田・横田・奥野・蘆原・有村・渡具知・大平・沼田・河野・金城さん／国際教養学部 土屋祐子研究室）

□15時00分～15時10分 コメントと質疑応答

休憩

第2部 講演とパネルディスカッション

□15時25分～16時00分 講演

「多文化共生のまちづくり～「多様性がイノベーションを生む」かけ算のまちづくり実践」

上林均寿さん 元大阪市職員（生野区役所シティプロモーション・多文化共生担当）

□16時00分～16時45分 パネルディスカッション

「空き家から創る～多様性に基づく地域社会のコミュニティスペースとメディアリテラシー」

パネリスト：田中かおりさん 学びの空間『楽』代表、阿部純さん、上林均寿さん、参加学生・地域のみなさん モデレーター：土屋祐子

□16時45分～16時50分 閉会のことば